様式第２号（第３条関係）

協議会会議録

<table>
<tr><td>会 議 名 称</td><td colspan="3">令和８年度 第２回伊達市地域公共交通活性化協議会（書面開催）</td></tr>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="3">議　事
議案第１号　愛のりタクシーの運行体制の変更について
議案第２号　第２期地域公共交通計画策定に係るアンケート調査(案)について</td></tr>
<tr><td>議 決 基 準 日</td><td colspan="3">令和８年９月17日(木)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">書 面 表 決 書
提　出　委　員</td><td colspan="3">有村 幹治 委員、宇井　尚　委員、金子 直記 委員、小笠原 豊二 委員、
加藤 源記 委員、紺野 哲也 委員、佐々木 功 委員、佐々木 崇史 委員、
菅野 圭一 委員、髙橋　圭　委員、髙本 克彦 委員、長澤 直裕 委員、
西崎 拓也 委員、水上 真明 委員、水谷 篤史 委員、村松 秀彦 委員、
矢内 孝昌 委員、吉村 亮輔 委員、與田 顕規 委員、渡部 貴志 委員
（五十音順、計20名）</td></tr>
<tr><td>所管部課名</td><td colspan="2">企画財政部企画課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開・非公開の別</td><td>■公　開</td><td>傍 聴 者 人 数</td><td>なし（書面開催のため）</td></tr>
<tr><td>□非公開</td><td>非公開の理由</td><td></td></tr>
</table>

【協議会の概要】

１．開　会

（書面開催のため省略）

２．議　事

議案第１号～第２号について、会長及び会長代理を除く全ての委員から承認を得たことから、伊達市地域公共交通活性化協議会設置要綱第５条第３項に基づき、全ての議事は原案どおり承認された。

なお、委員から、議案第２号に関して次の意見が提出された。

・世帯ごとに配布・回収することを踏まえ、各設問が回答者本人に関するものか、世帯に関するものかを明確にした方がよいこと。

・公共交通による移動環境への満足度について、地区別人口等とのクロス集計を行うことで、施策の優先順位の検討に資する可能性があること。

・高校生の日常利用状況や卒業後の利用意向等を把握することで、若年層の需要動向の把握につながる可能性があること。

３．閉　会

（書面開催のため省略）

－ 以上 －

令和８年度 第２回伊達市地域公共交通活性化協議会（書面会議）

会 議 次 第

議決基準日：令和８年９月 17 日(木)

１　議　事

議案第１号

愛のりタクシーの運行体制の変更について　【資料１】

議案第２号

第２期地域公共交通計画策定に係るアンケート調査(案)について【資料２】

資料１

議案第１号

愛のりタクシーの運行体制の変更について

光星タクシー㈲の閉業（令和８年９月 20 日）に伴い、㈱伊達ハイヤーが事業を継承し、「愛のりタクシー」の運行を継続することから、運行体制を次のとおり変更する。

	変更前	変更後
通常便	令和８年９月２０日まで、運行事業者２社で運行 ・㈱伊達ハイヤー ・光星タクシー㈲	令和８年９月２１日から、運行事業者１社で運行 ・㈱伊達ハイヤー
定時便	毎年度（４月～３月）、担当区域を入れ替えて運行 令和８年度（～９月２０日まで） ■有珠・長和 ⇔ 中央 光星タクシー㈲ ■黄金・稀府 ⇔ 中央 ㈱伊達ハイヤー	令和８年９月２１日から、両区域を㈱伊達ハイヤーが運行 令和８年度以降（９月２１日～） ■有珠・長和 ⇔ 中央 ㈱伊達ハイヤー ■黄金・稀府 ⇔ 中央 ㈱伊達ハイヤー

※運行体制の変更日は令和８年９月 21 日であるが、同日から 23 日までは休日のため運休となることから、実際の運行開始日は９月 24 日となる。

【現行】愛のりタクシーの運行内容

通　常　便

乗車時間指定は30分ごと（毎時00分・30分）となります。
通常便は、中央・関内地区のみのご利用となります。

※黄金・稀府・有珠・長和地区の方は、定時便のみのご利用となります。

通常便のご予約はどちらでもOK

●伊達ハイヤー
TEL. 0142-22-1880

●光星タクシー
TEL. 0142-23-0101

定　時　便

黄金・稀府・有珠・長和地区の方のみのご利用となります。 ※大滝区は含まれません。

●伊達ハイヤー　TEL. 0142-22-1880

●光星タクシー　TEL. 0142-23-0101

※定時便は毎年度（4月～翌年3月）、運行事業者が入れ替わります

【有珠・長和 ⇔ 中央】 白鳥号

午前便

有珠	長和	中央
8:30頃 ➡	8:45頃 ➡	9:00頃
9:30頃 ➡	9:45頃 ➡	10:00頃
10:30頃 ➡	10:45頃 ➡	11:00頃

午後便

中央	長和	有珠
12:00頃 ➡	12:15頃 ➡	12:30頃
13:00頃 ➡	13:15頃 ➡	13:30頃
14:00頃 ➡	14:15頃 ➡	14:30頃

【黄金・稀府 ⇔ 中央】 はまなす号

午前便

黄金	稀府	中央
8:30頃 ➡	8:40頃 ➡	9:00頃
9:30頃 ➡	9:40頃 ➡	10:00頃
10:30頃 ➡	10:40頃 ➡	11:00頃

午後便

中央	稀府	黄金
12:00頃 ➡	12:20頃 ➡	12:30頃
13:00頃 ➡	13:20頃 ➡	13:30頃
14:00頃 ➡	14:20頃 ➡	14:30頃

令和	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	光星	伊達	光星	伊達	光星
	伊達	光星	伊達	光星	伊達

議案第２号 第２期地域公共交通計画策定に係るアンケート調査(案)について　資料２

人口減少、少子高齢化、運転手不足等の社会情勢の変化に対応し、持続可能な公共交通体系を構築するため、市民及び高校生を対象としたアンケートを実施します。

- 第2期地域公共交通計画策定の**基礎資料**として実施
- 市民・高校生の**移動実態・移動上の課題・将来の移動ニーズ**を把握
- 地区ごとの交通機能・既存交通の改善・持続可能な交通体系の検討に**反映**

調査結果の活用の流れ

現在の移動実態・公共交通の利用状況 ▶ 移動上の課題・将来の移動ニーズを分析 ▶ 必要な交通機能を整理 ▶ **第2期地域公共交通計画へ反映**

➢**市民アンケート（生活交通）と高校生向けアンケート（通学交通）の結果を合わせて、今後の公共交通体系や施策の方向性を検討します。**

アンケート調査の実施概要

アンケート調査の対象・実施方法

項目	市民アンケート	高校生向けアンケート
対象	伊達市民　3,000人	伊達開来高等学校の生徒
実施時期	協議会での了承後に実施予定	市内循環線（関内方面）の路線再編後に実施予定
実施方法	郵送による調査票の配布・回収を基本とし、WEB回答等も活用予定	学校を通じた実施を想定 WEB回答等も活用予定
主な目的	生活交通の実態、地区ごとの移動ニーズを把握	路線再編後の通学実態・影響、必要な交通条件を把握

両アンケートを合わせ、生活交通と通学交通の双方から今後の公共交通体系・施策の方向性を検討します。

市民アンケート調査の主な調査項目

主な調査項目

1	回答者の属性・自動車利用状況	年齢、居住地区、運転免許、自動車保有、今後の運転意向　など
2	日常生活の移動実態	通勤・通学、買い物、通院、私用の行き先／利用交通手段／移動時間帯 目的：「どこへ・いつ・どのように」移動しているかを把握し、必要な交通サービスを検討
3	移動上の困りごと・将来の移動ニーズ	移動手段がなく外出を諦める状況、運転できなくなった場合の移動、生活維持に必要な外出 目的：現在は表面化していない潜在的な移動需要を把握
4	地域の公共交通の認知・利用状況	JR、路線バス、タクシー、愛のりタクシー、地域の移動サービス等の認知・利用状況 目的：「知らないため利用していない」「知っているが利用していない」「利用している」を区別
5	地区ごとの交通課題・利用条件	利用しない理由、利用しやすくなる条件、将来的な利用可能性、地域交通を支える担い手 目的：必要な移動条件から、各地区に適した交通施策を検討

地区別の設問テーマ

市街・舟岡	市街地内の移動、主要施設へのアクセス、JR・路線バスとの乗継
関内	愛のりタクシーの認知・利用状況、利用しない理由、利用条件
有珠	ちょい乗り事業の利用状況・改善点、地域交通を支える担い手
長和	地区内移動、JR長和駅・路線バスへのアクセス、将来的な地区交通の利用可能性
稀府・黄金	JR駅・バスへのアクセス、地区内交通の必要性、地域で支える交通の成立可能性
大滝	胆振線代替バスの利用条件、タキシー等による日常生活の移動

高校生アンケート調査の主な調査項目

主な調査項目

市内循環線（関内方面）の路線再編後に実施し、再編後に実際に生じた通学上の影響と課題を把握します。

1 現在の通学実態

居住地区
登校・下校の交通手段
通学時間

2 路線再編前後の通学経路

利用路線
乗車・降車バス停、乗車時刻
他交通との乗継

3 路線再編による実際の影響

利用する路線・バス停の変更
家族送迎の増加、徒歩・自転車への転換
待ち時間、JR・他バスとの乗継
部活動・休日等への影響

4 登下校時に必要な公共交通

朝便の利用状況／学校を出る時間帯
公共交通までの待ち時間
下校時に利用しやすい便の時間帯

5 今後必要な改善条件

登校時間・授業終了後・部活動終了後に合う便／運行本数
JR・他バスとの乗継／学校近くからの利用／休日運行
運賃・定期券／運行情報

調査結果を、今後の通学交通の改善・再編検討に活用

第２期伊達市地域公共交通計画　アンケート設問構成 / 目的意識・分析上の位置付け

No.	区分	対象地区・対象者	設問区分	設問（案）	目的意識・分析上の位置付け
1	市民アンケート	全地域共通	回答者属性・世帯状況	年齢・性別、家族構成、職業、住所／免許・自動車の保有状況／世帯の自動車保有台数	属性別・地区別・自動車依存度別に、移動実態や地域交通の利用可能性を分析する基礎情報とする。
2			将来の運転・移動手段	今後の自動車運転意向／運転が困難になった場合に想定する移動手段／免許返納等により困ること	現在は自動車で移動できている層も含め、将来的に公共交通・生活交通を必要とする潜在需要を把握する。
3			日常生活の外出・移動制約	普段の外出目的／外出頻度／外出を諦める頻度／日常生活を成り立たせる上で必要な外出目的	現在顕在化している移動だけでなく、「行きたいが行けていない」移動や、生活維持上確保すべき移動を把握する。
4			通勤・通学の移動実態	通勤・通学先／主な交通手段／到着時間帯／帰宅（出発）時間帯	地区間の移動需要と、通勤・通学に公共交通が必要となる時間帯を把握する。
5			買い物の移動実態	買い物頻度／よく行く買い物先／主な交通手段／到着時間帯／滞在時間	買い物目的の目的地・交通手段・必要時間帯を把握し、地区交通・広域交通・乗継の必要性を分析する。
6			通院の移動実態	通院頻度／よく行く通院先／主な交通手段／到着時間帯／滞在時間	通院目的の目的地・交通手段・必要時間帯を把握し、生活交通として確保すべき移動条件を分析する。
7			私用・その他外出の移動実態	私用の外出頻度／主な行き先／主な交通手段／到着時間帯／滞在時間	買い物・通院以外の外出を含め、日常の社会参加・交流等に必要な移動実態を把握する。
8			公共交通全般の認知・再編への考え方	バス停位置・運行経路・頻度などバスサービスをどの程度知っているか／利用者が少ないバスの維持・見直しをどう考えるか	既存バスサービスの認知状況と、持続可能な路線再編に対する基本的な意識を把握する。
9			地区内交通の認知・利用状況、利用意向	地区で利用できる各交通について、認知や利用状況を把握。 今後の利用意向についても把握。	「知らない」「知っているが使わない」「利用している」を分け、周知不足、実利用等を交通サービス別に整理する。共通設問の年齢・免許・自動車保有・移動目的等とのクロスにより潜在需要を把握する。
10					
11					
12					
13					
14					
15		市街・舟岡	市内交通の非利用理由	市内循環バス等を利用していない理由（例：自動車で移動できる、時間が合わない、バス停が遠い、行きたい場所に行かない、時間がかかる、経路・時刻が分かりにくい等）	非利用が「需要がない」ためなのか、経路・時間・アクセス等のサービス条件によるものなのかを分けて把握する。
16			市街地内移動に必要な条件	どのような条件なら市街地内を移動しやすいか（例：自宅近くから利用、スーパー・病院等の入口近くで乗降、複数施設を効率よく移動、短時間、利用したい時間帯・本数等）	必要な機能から住宅地内のきめ細かな運行、市街地循環、ルート・頻度等の検討につなげる。
17			乗継に必要な条件	JR伊達紋別駅や他の路線バスへ乗り継ぐ際に必要な条件（例：接続時刻、待ち時間、分かりやすい乗継場所、雨雪を避ける待合、座れる場所、追加料金負担等）	JR・路線バスとの結節性を評価し、ダイヤ調整、交通結節拠点、待合環境、乗継施策の必要性を整理する。

第２期伊達市地域公共交通計画　アンケート設問構成 / 目的意識・分析上の位置付け

No.	区分	対象地区・対象者	設問区分	設問（案）	目的意識・分析上の位置付け
18	市民アンケート	関内	愛のりタクシーの非利用理由	愛のりタクシーを現在利用していない理由（例：自動車・家族送迎で足りる、利用条件に該当しない、時間帯、予約、料金、利用方法が分からない、今は必要ない等）	認知不足、制度条件、予約・運行条件、料金、現在の必要性を切り分け、利用促進だけでよいのか制度改善が必要かを判断する。
19			愛のりタクシーの利用意向・改善条件	今後利用したいか／どのような条件なら利用しやすいか（例：対象条件の拡大、利用時間帯、当日予約、予約方法、希望時間、行ける場所、料金、情報提供等）	現在非利用でも将来利用する層を把握し、対象者条件・予約方法・運行時間・利用範囲等の改善優先度を整理する。
20		有珠	ちょい乗り事業の利用頻度・利用目的	現在の利用頻度／主な利用目的（例：買い物、通院、JR有珠駅、路線バス乗継、公共施設・地域活動等）	互助輸送が地区内生活交通として定着しているか、JR・路線バスへのフィーダーとして機能しているかを把握する。
21			ちょい乗り事業利用者の改善条件	利用者に、さらに使いやすくするための改善点を確認（例：当日予約、予約方法、利用時間帯、希望時間、地区内の利用先、JR・路線バス接続、伊達市街への移動、情報提供、現状でよい等）	既存利用者の実利用に基づき、予約・運行時間・利用範囲・フィーダー機能等の改善必要性を整理する。
22			ちょい乗り事業非利用理由・潜在利用	非利用理由（例：自動車・家族送迎、他交通で足りる、時間帯、地区外へ行けない、前日・電話予約、利用方法、地域住民運転への抵抗、料金、今は不要等）／どの条件なら利用する可能性があるか	「必要がないため非利用」と「利用したいが条件が合わない」を分け、改善による利用転換の可能性を把握する。
23			互助輸送の担い手意向	現在運転者として協力している／今後協力したい／条件が合えば協力可能／協力は難しい／免許なし／分からない	現在の担い手と潜在的担い手を把握し、互助輸送を地域で継続できる供給力を評価する。
24			協力するための条件	運転者として協力しやすい条件（例：曜日・時間・頻度を選べる、短距離、市等が車両を用意、自己負担なし、謝礼、保険・責任範囲、予約調整を運営側が担当、研修等）	潜在的担い手を実際の担い手につなげるため、市・運営側に必要な車両、費用、補償、予約配車等の支援条件を把握する。
25			協力が難しい理由	協力が難しい理由（例：運転に自信がない、他人を乗せる不安、事故責任、健康・体力、時間確保、固定時間への対応、知らない人への抵抗、ボランティア負担等）	担い手不足の原因を具体化し、市の支援で解消可能な障壁と、解消が難しい障壁を分けて持続可能性を検証する。

第２期伊達市地域公共交通計画　アンケート設問構成 / 目的意識・分析上の位置付け

No.	区分	対象地区・対象者	設問区分	設問（案）	目的意識・分析上の位置付け
26	市民アンケート	長和	地区で不足している交通機能	どのような点が改善されれば移動しやすいか（例：自宅近くから利用、JR長和駅・路線バス停への移動、地区内生活施設、伊達市街への移動、JR・バス時刻への接続、希望時間、予約、料金等）	交通方式を先に決めず、地区内移動・駅／幹線へのフィーダー・伊達市街直行のどの機能が必要かを把握する。
27			新たな地区交通の利用可能性	自宅付近からJR長和駅、路線バス停、地区内生活施設等へ移動できる交通があった場合の利用意向（現在、時々、将来、条件が合えば、利用しない等）	機能ベースで潜在利用を把握し、フィーダー交通・小規模地区交通等の導入必要性を検討する。
28			地域で支える交通への協力意向・条件	運転等で協力できるか／条件が合えば可能か／協力しやすい条件（時間・頻度・車両・費用・謝礼・保険・予約支援等）	住民主体で運営できる可能性と、市・交通事業者等に必要な支援・役割を把握する。
			協力が難しい理由	協力が難しい理由（運転不安、他人を乗せる不安、事故責任、健康・体力、時間、ボランティア負担等）	担い手確保上の障壁を特定し、完全な住民主体が可能か、事業者等との協働が必要かを検討する。
29		稀府・黄金	地区で不足している交通機能	どのような点が改善されれば移動しやすいか（例：自宅近く、JR稀府駅・黄金駅、路線バス停、地区内生活施設、伊達市街、JR・バス接続、希望時間、予約、料金等）	JR・路線バスとの役割分担を含め、地区内交通に必要な機能を把握する。
30			新たな地区交通の利用可能性	自宅付近からJR駅、路線バス停、地区内生活施設等へ移動できる交通があった場合の利用意向	交通方式を示さず、地区交通に対する潜在需要を把握し、フィーダー・地区内小規模交通等の検討につなげ
31			地域で支える交通への協力意向・条件	運転等で協力できるか／条件が合えば可能か／協力しやすい条件（時間・頻度・車両・費用・謝礼・保険・予約支援等）	住民主体で運営できる可能性と、市・交通事業者等に必要な支援・役割を把握する。
32			協力が難しい理由	協力が難しい理由（運転不安、他人を乗せる不安、事故責任、健康・体力、時間、ボランティア負担等）	担い手確保上の障壁を特定し、完全な住民主体が可能か、事業者等との協働が必要かを検討する。
33		大滝	胆振線代替バスの利用上の課題・改善条件	胆振線代替バスについて、利用しやすくするための条件（例：伊達市街へ向かう時間、帰る時間、運行本数、停留所、JR・他バス接続、通院・買い物を済ませられる滞在時間、情報の分かりやすさ等）	胆振線代替バスが担うべき広域移動の時間帯・本数・接続条件を把握し、維持・見直しの方向性を検討する。
34			タキシー等の非利用理由	タキシー等を利用していない理由（例：自動車・家族送迎、胆振線等で足りる、料金、予約、希望時間への不安、利用方法、一緒に利用する人がいない、今は不要等）	小規模で柔軟な交通が利用されない要因を把握し、周知・料金・予約・運用の改善余地を整理する。
35			身近な生活移動に必要な条件	どのような交通なら利用しやすいか	広域幹線とは別に、地区内・身近な生活移動に必要な柔軟性・相乗り・費用条件を把握し、タキシー等との役割分担を検討する。
36		全地域共通	自由意見	日常の移動や公共交通について、困っていること・改善してほしいこと	選択式設問では把握しきれない課題・要望を補足し、計画策定上の論点整理に活用する。

第２期伊達市地域公共交通計画　アンケート設問構成 / 目的意識・分析上の位置付け

No.	区分	対象地区・対象者	設問区分	設問（案）	目的意識・分析上の位置付け
1	高校生向けアンケート	伊達開来高校生	回答者属性	学年／居住地区・市町村	学年別・居住地区別に、通学手段や路線再編の影響を分析する基礎とする。
2			路線バス利用・現在の通学手段	路線再編前または現在、通学に路線バスを利用している・していたか／現在の登校時・下校時の主な通学方法	再編前後の路線バス利用者を抽出し、現在のバス・JR・家族送迎・徒歩自転車等への依存状況を把握する。
3			現在の通学時間	自宅を出る時刻・学校到着時刻／学校を出る時刻・自宅到着時刻	実際の通学所要時間と、登下校で公共交通が必要となる時間帯を把握する。
4			再編前後の利用路線・乗降バス停	再編前と現在について、利用する伊達市内のバス路線、乗車バス停、降車バス停、乗車時刻、他交通との乗継の有無	再編前後の実際の通学経路を比較し、路線・停留所・乗継の変更状況を具体的に把握する。
5			路線再編による変化・影響	再編前と比べた通学方法の変化（路線・便、バス停、乗継、家族送迎、徒歩自転車、バス利用中止等）／現在実際に困っていること	路線再編により実際に生じた行動変化と、待ち時間・乗継・徒歩・家族送迎・部活動・休日利用等への影響を整理する。
6			路線バスを利用しなくなった理由	現在路線バスを利用していない場合の最も大きな理由（時間、便数、バス停、乗継、家族送迎、徒歩自転車、再編以外の理由等）	路線再編による公共交通からの離脱がどの条件によって生じたかを把握し、利用回復に必要な改善点を検討する。
7			登校時の朝便の利用実態	現在『伊達開来高校前』を経由する朝便をどの程度利用しているか／利用しない日は主にどの方法で登校しているか	再編後の朝便が実際に登校交通として機能しているか、利用しない場合にどの交通へ転換しているかを確認する。
8			下校時の利用実態・必要時間帯	普段学校を出ることが多い時間帯／現在利用できる公共交通までの待ち時間／高校前から何時台の便があると利用しやすいか	授業・部活動終了後の実際の下校需要と待ち時間を把握し、下校時に必要な運行時間帯を検討する。
9			路線再編後の総合評価	再編前と比べ、現在の通学をどのように感じるか（とても不便～とても便利）	個別の影響項目だけでなく、路線再編後の通学利便性を総合的に評価し、学年・居住地区・通学手段別に差を確認する。
10			今後必要な改善条件	今後、通学で公共交通を利用しやすくするために特に必要なこと（登校・授業終了・部活終了に合う便、高校前からの利用、本数、乗継、休日、運賃・定期券、情報等）	実際の通学実態と影響を踏まえ、今後も公共交通を利用するために優先すべき改善条件を整理する。
11			自由意見	路線再編後に実際に困ったこと／今後改善してほしいこと	選択式では把握できない具体的な通学課題や改善要望を補足する。